

安佐市民病院跡地に係る対話型市場調査（サウンディング調査）結果

安佐市民病院跡地に係る対話型市場調査を次のとおり実施したので公表します。

1 実施方法

個別対話方式

2 調査の経過

令和元年 7 月 22 日	対話型市場調査実施要領の公表
8 月 23 日	現地案内・説明会の開催
10 月 1 日、4 日	対話の実施【2 者（学校法人、社会福祉法人）】

3 対話結果の概要について

対話において出てきた主な意見については、以下のとおりです。

(1) 跡地の活用について
<ul style="list-style-type: none"> 複合施設（外国人技能実習生入国後講習センター、サービス付き高齢者住宅、グループホーム、レストラン、認定こども園等）を想定している。 使用面積は約 2,000 m²（敷地南西部）を想定している。 補助金等の有無を確認するため、対話に申し込んだが、具体的な進出プランはない。 大学の学部を運営するには土地が狭いかもしい。
(2) 進出条件について
<ul style="list-style-type: none"> 購入を中心に検討している。 他事業者と共同で複合施設を整備することは想定していない。 校舎の建築には多大な経費が必要であり、大幅な減免や補助金等がなければ難しい。
(3) 事業展開のイメージ
<ul style="list-style-type: none"> 寮や職員駐車場として周辺の賃貸住宅や駐車場の借り上げなどが地域貢献として検討できる。 多目的広場について草取りなどの簡易な管理により地域貢献に寄与することが考えられる。 一般論だが、学校を運営開始するには指定した用途に供する期日を引き渡し後 2 年を超えない範囲とすると厳しいかもしれない。
(4) 市への要望について
<ul style="list-style-type: none"> 医師住宅は、現状のままでは使用できない。 土壌汚染対策が必要な場合は、広島市が実施することを希望する。 放送設備が必要であること等から、学校は迷惑施設だと思われる場合があるので、地域の理解が得られるようにしてほしい。
(5) その他
<ul style="list-style-type: none"> 安佐市民病院跡地のみを対象に進出を検討している。